

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 岡山ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 貝畑学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
商業実務専門課程	医療事務学科	夜・通信	28.5 (735)	7 (160)	
	診療情報管理士科	夜・通信	31	4	
	ファッションクリエイター学科	夜・通信	19 (420)	7 (160)	
	高度ファッションクリエイター科	夜・通信	15	4	
	ブライダル・コンシェルジュ学科	夜・通信	21.5	7	
	ブライダル学科	夜・通信	(480)	(160)	
	マーケティングビジネス学科	夜・通信	10	7	
	ビジネス・コミュニケーション学科	夜・通信	(300)	(160)	
	アニメイラスト学科	夜・通信	32	7	
	コミックイラスト学科	夜・通信	(660)	(160)	
	eスポーツビジネス学科	夜・通信	20 (495)	7 (160)	
文化教養専門課程	メディカルトリマー学科	夜・通信	33 (870)	7 (160)	
衛生専門課程	パティシエ・ブーランジェ学科	夜・通信	27 (750)	7 (160)	
	調理師養成学科	夜・通信	15 (480)	7 (160)	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	31 (1,010)	7 (160)	
(備考) ※学科名称変更のため 1年生のみ ブライダル・コンシェルジュ学科、マーケティングビジネス学科、アニメイラスト学科 2年生のみ ブライダル学科、ビジネス・コミュニケーション学科、コミックイラスト学科 ※ () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき単位数の欄に、授業時数を記載している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

U R L : https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 岡山ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 貝畑学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

URL : <https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p04>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人 役員	2025年6月1日から 2029年5月31日	組織運営体制のチ ェック機能
非常勤	株式会社 役員	2025年6月1日から 2029年5月31日	組織運営体制のチ ェック機能
(備考) 他、学外者であるものは4名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 岡山ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 貝畑学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
各業界で就職後に必要となる知識・技術および職業人として必要なビジネスマナーやコミュニケーション能力などの人間力を育むための授業科目を設定し、資格取得はもちろん、取得資格を活かせる実践力を身に付ける実践教育を目標とし、従来の授業方法に加え、学生達が主体的に授業に取り組めるアクティブラーニングや授業理解度向上を目的としたICT・eラーニングなどの積極的な活用に取り組んでいる。 ●シラバスの作成過程 本校では学科毎に業界の方からのヒアリングや担当教員、講師によるミーティングを行い、目指す人材目標・取得目標資格を決定しカリキュラムを作成。 各科目担当教員が目標達成に向けたシラバス（授業計画書）を作成する。 ●シラバス作成時期および公表時期 3月初旬の全体講師会で当該年度の重点目標や各学科方針を発表し、3月中にシラバスを作成、ホームページにて公表する。	
授業計画書の公表方法	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
本校は、卒業認定、成績評価、単位認定等について、次のとおり定めている。 学園の教育理念・教育目標を実現するために「卒業認定・称号付与の方針」を定め、その方針に基づき「教育課程の編成および実施方針」を定め、その内容にふさわしい授業科目を開設している。単位修得認定および成績評価については、学則に方針を定め、科目ごとにシラバスを作成し公表している。 これら方針に基づき、厳格かつ適正な学修成果の評価および単位認定を行っている。 1. 「卒業認定・称号付与の方針（ディプロマポリシー）」 2. 「教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラムポリシー）」 3. 「シラバス」について URL：https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。

●評価方法

評定	点数 (100点満点)	到達目標	判定
A	80点～100点	優秀	合格
B	70点～79点	良好	
C	60点～69点	最低の合格	
D	59点以下	合格不可	不合格

●客観的な指標の算出方法

履修科目の成績を点数化（100点満点）し、全科目の平均点を算出。その結果に基づき、成績の分布状況を把握している

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
----------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

「卒業認定・称号付与の方針（ディプロマポリシー）」

本校は、設置する学科に関連する業界で活躍できる専門知識や技術を習得し、良識ある社会人として必要な素養を身に付け、国や地域社会、国際社会の発展に貢献できる心豊かな職業人の養成を目標としています。

以下の能力を身に付け、所定の年限在学し、かつ所定の授業科目および単位を修得した学生の卒業を認定し、専門士の称号を付与する。

- ①多様な時代の多様な変化に対応でき、実践で活かせる専門知識や技術を習得している。
- ②幅広い視野と良識を持ち、心豊かな人間性を形成している。
- ③自らの職業能力を証明する資格を取得している。
- ④職業人としてのビジネスマナー、コミュニケーション能力を身に付けている。
- ⑤他国の様々な文化を理解できる国際人である。
- ⑥職業人として生涯自分の支えとなるチャレンジする姿勢と諦めない姿勢を身に付けている。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
----------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 岡山ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 貝畑学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
収支計算書又は損益計算書	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
財産目録	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
事業報告書	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
監事による監査報告（書）	https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	医療事務学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	70 単位 (1, 710) 単位時間	28.5 (660)	46 (1, 155)	3.5 (105)	0 (0)	0 (0)
			78 単位 (1, 920) 単位時間				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		50 人	0 人	2 人	6 人	8 人	

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条（経過措置）」に基づき単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 医療業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、医療機関等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①近年めまぐるしく変化し、進化し続ける医療関連業界に対応するため、医療業関係者と連携をとって講義、演習、実習などの授業を行う。 ②専門分野における実践的な知識・技術・技能について、職務経験者が教鞭を執ることにより、就職後即戦力となれるよう指導を行う。 ③診療報酬や接遇マナーに関する各種資格取得について、講義形式の授業だけでなく、ICTやeラーニングなども活用し、学生の授業理解度向上と資格合格をサポートする。 ④1年次に業界研究を進め、自己理解をしっかりとった上で、自分に適した授業の選択が進級時にできるような授業展開とアドバイスを行う。

成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 (1) 卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が2年間で62単位以上 (2) 進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が31単位以上
学修支援等
(概要) ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																							
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																				
27 人 （100％）	0 人 （0％）	27 人 （100％）	0 人 （0％）																				
（主な就職、業界等） 各種医療機関（病院、診療所、調剤薬局、歯科医院など）、ドラッグストア																							
（就職指導内容） キャリアプログラム、学生面談、面接指導、企業説明会、個別就職活動支援など																							
（主な学修成果（資格・検定等）） <table><thead><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>医科医療事務検定 3 級</td><td>③</td><td>27 人</td><td>27 人</td></tr><tr><td>ホスピタルコンシェルジュ検定 3 級</td><td>③</td><td>27 人</td><td>27 人</td></tr><tr><td>サービス接遇実務検定準 1 級</td><td>③</td><td>27 人</td><td>20 人</td></tr><tr><td>医薬品登録販売者試験</td><td>③</td><td>15 人</td><td>6 人</td></tr></tbody></table> ※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	医科医療事務検定 3 級	③	27 人	27 人	ホスピタルコンシェルジュ検定 3 級	③	27 人	27 人	サービス接遇実務検定準 1 級	③	27 人	20 人	医薬品登録販売者試験	③	15 人	6 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
医科医療事務検定 3 級	③	27 人	27 人																				
ホスピタルコンシェルジュ検定 3 級	③	27 人	27 人																				
サービス接遇実務検定準 1 級	③	27 人	20 人																				
医薬品登録販売者試験	③	15 人	6 人																				
（備考）（任意記載事項）																							

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57 人	2 人	3.5%
(中途退学の主な理由) 成績不振、進路変更等のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止セミナーの受講 ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	診療情報管理士科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	31 単位	7.5	20	2.5	0	1
			31 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		0 人	0 人	1 人	4 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 医療業界の方との意見交換を行い、診療情報管理士認定試験合格に向けて、演習に重きを置いたカリキュラムで授業科目を開設している。 ①近年めまぐるしく変化し、進化し続ける医療関連業界に対応するため、医療業関係者と連携をとって講義、演習、実習などの授業を行う。 ②専門分野における実践的な知識・技術・技能について、職務経験者が教鞭を執ることにより、就職後即戦力となれるよう指導を行う。 ③診療情報管理士資格をはじめとする、各種資格取得について、講義形式の授業だけでなく、ICTやeラーニングなども活用し、学生の授業理解度向上と資格合格をサポートする。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が31単位以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)

(主な就職、業界等)
(就職指導内容)
(主な学修成果（資格・検定等）)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止セミナーの受講 ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ファッション クリエイター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	74 単位 (1, 710) 単位時間	5 (105)	44 (750)	25 (855)	0 (0)	0 (0)
			74 単位 (1, 710) 単位時間				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		48 人	0 人	2 人	9 人	11 人	

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき
単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） アパレル業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、アパレル関連企業等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①地元アパレル企業と連携した実践型の授業科目を開設。専門分野の講義、演習、実習授業を通じて、現場に直結する実践カリキュラムで即戦力を育成する。 ②地元アパレル企業での見学や実習、インターンシップなどで現場を経験し、実践力を養う。 ③アパレル業界の各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が 2 年間で 62 単位以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が 31 単位以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																
20 人 (100%)	11 人 (55%)	9 人 (45%)	0 人 (0%)																
（主な就職、業界等） アパレル業界（アパレルメーカー・セレクトショップ・縫製工場など）、一般企業																			
（就職指導内容） キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など																			
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="1" data-bbox="339 728 1291 882"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定 3 級</td><td>③</td><td>21 人</td><td>13 人</td></tr> <tr> <td>色彩活用パーソナルカラー検定 3 級</td><td>③</td><td>18 人</td><td>17 人</td></tr> <tr> <td>パターンメイキング技術検定 3 級</td><td>③</td><td>6 人</td><td>4 人</td></tr> </tbody> </table> 第 62 回 技能五輪全国大会 洋裁職種 ：銀賞 1 名 銅賞 1 名 ※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ファッションビジネス能力検定 3 級	③	21 人	13 人	色彩活用パーソナルカラー検定 3 級	③	18 人	17 人	パターンメイキング技術検定 3 級	③	6 人	4 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
ファッションビジネス能力検定 3 級	③	21 人	13 人																
色彩活用パーソナルカラー検定 3 級	③	18 人	17 人																
パターンメイキング技術検定 3 級	③	6 人	4 人																
（備考）（任意記載事項）																			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	1 人	2.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	高度ファッション クリエイター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	34.5 単位	0	12	22.5	0	0
			34.5 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		9 人	0 人	1 人	5 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 業界で実務を行う講師の意見を取り入れ、アパレル業界で仕事をするために必要な知識・技術を習得できることを目指したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①地元アパレル企業と連携した実践型の授業科目を開設。専門分野の講義、演習、実習授業を通じて、現場に直結する実践カリキュラムで即戦力を育成する。 ②地元アパレル企業での見学や実習、インターンシップなどで現場を経験し、実践力を養う。 ③アパレル業界の各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が 31 単位以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） アパレル業界（アパレルメーカー・セレクトショップ・縫製工場など）、一般企業			
（就職指導内容） キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第 62 回 技能五輪全国大会 洋裁職種 ：金賞 1 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ブライダル・ コンシェルジュ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	73 単位	14.5	55.5	1	0	3
			74 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		26 人	0 人	2 人	9 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ブライダル業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、ブライダル関連企業等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①講義、演習、実習を学年や時期に合わせて効果的に実施し、ブライダル関連企業と連携したカリキュラムで現場に直結する実践型の授業を展開。実践力を養い、即戦力を目指す。 ②地元ブライダル関連施設および企業の見学や実習、沖縄リゾートウェディング研修、卒業年次に実施するMDOウェディングなど、本物を経験できる環境で実践力を養う。 ③徹底したマナー教育、人間力教育で接遇力を含めたコミュニケーションスキルとホスピタリティーマインドを養う。 ④実践力、現場力を身に付けるため、各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C評定（60点）以上を合格とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が2年間で62単位以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が31単位以上	
学修支援等	
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ブライダル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	(1, 710) 単位時間	(390)	(1, 080)	(30)	(0)	(240)
			(1, 740) 単位時間				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		34 人	0 人	2 人	9 人	11 人	

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき
単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ブライダル業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、ブライダル関連企業等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①講義、演習、実習を学年や時期に合わせて効果的に実施し、ブライダル関連企業と連携したカリキュラムで現場に直結する実践型の授業を展開。実践力を養い、即戦力を目指す。 ②地元ブライダル関連施設および企業の見学や実習、沖縄リゾートウェディング研修、卒業年次に実施するMDOウェディングなど、本物を経験できる環境で実践力を養う。 ③徹底したマナー教育、人間力教育で接遇力を含めたコミュニケーションスキルとホスピタリティーマインドを養う。 ④実践力、現場力を身に付けるため、各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が 2 年間で 1, 700 時間以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則 800 時間以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																
20 人 (100%)	0 人 (0%)	20 人 (100%)	0 人 (0%)																
（主な就職、業界等） ブライダル業界（結婚式場・貸衣装店・ホテルなど）、一般企業																			
（就職指導内容） キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など																			
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="1" data-bbox="333 728 1295 882"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブライダルコーディネーター技能検定 3 級</td><td>③</td><td>16 人</td><td>16 人</td></tr> <tr> <td>ブライダルプランナー検定 2 級</td><td>③</td><td>20 人</td><td>20 人</td></tr> <tr> <td>ドレスコーディネーター</td><td>③</td><td>20 人</td><td>18 人</td></tr> </tbody> </table> ※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ブライダルコーディネーター技能検定 3 級	③	16 人	16 人	ブライダルプランナー検定 2 級	③	20 人	20 人	ドレスコーディネーター	③	20 人	18 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
ブライダルコーディネーター技能検定 3 級	③	16 人	16 人																
ブライダルプランナー検定 2 級	③	20 人	20 人																
ドレスコーディネーター	③	20 人	18 人																
（備考）（任意記載事項）																			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58 人	3 人	5.2%
（中途退学の主な理由） 病気による出席率不足、学校生活への不適合・進路変更、成績不振、友人関係など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	マーケティング ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	72 単位	58	34	0	0	0
			92 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		8 人	0 人	2 人	8 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 担当教員と講師によるミーティングを行い、就活に強い人財育成カリキュラムで授業科目を開設している。 ① 自己理解や職業理解を深め PBL 実践を展開。徹底したマナー指導も加え、現場でのインターンシップを行い実践型の授業を展開。実践力を養い、即戦力を目指す。 ② 東京で活躍する起業家のオンライン授業を取り入れ実践的なマーケティング力を身につけ伝える技術を習得する。 ③ ビジネスコンテストエントリーを通して地域での課題を解決するプラン設計や企業研究、市場調査を経験できる環境で実践力を養い、自ら企画したビジネスプランを構築する。 ④ ネイティブ講師によるロールプレイ型英会話講義で伝わる英語力を身に付ける。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・プレゼン・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が 2 年間で 62 単位以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が 31 単位以上	
学修支援等	
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ビジネス・ コミュニケーション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	(1, 710) 単位時間	(1. 470)	(840)	(0)	(0)	(0)
			(2, 310) 単位時間				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		13 人	4 人	2 人	8 人	10 人	

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条（経過措置）」に基づき
単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 担当教員と講師によるミーティングを行い、就活に強い人財育成カリキュラムで授業科目を開設している。 ⑤ 自己理解や職業理解を深め PBL 実践を展開。徹底したマナー指導も加え、現場でのインターンシップを行い実践型の授業を展開。実践力を養い、即戦力を目指す。 ⑥ 東京で活躍する起業家のオンライン授業を取り入れ実践的なマーケティング力を身につけ伝える技術を習得する。 ⑦ ビジネスコンテストエントリーを通して地域での課題を解決するプラン設計や企業研究、市場調査を経験できる環境で実践力を養い、自ら企画したビジネスプランを構築する。 ⑧ ネイティブ講師によるロールプレイ型英会話講義で伝わる英語力を身に付ける。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・プレゼン・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （１）卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が２年間で１，７００時間以上 （２）進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則８００時間以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）															
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他												
11 人 (100%)	1 人 (9.1%)	9 人 (81.8%)	1 人 (9.1%)												
（主な就職、業界等） 総合職・営業職（自動車ディーラー、総合食品小売業・外食産業・不動産業等）															
（就職指導内容） キャリアプログラム・校内企業ガイダンス・就職適性検査・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など															
（主な学修成果（資格・検定等）） ＜産学連携授業＞ ・瀬戸内市学生等チャレンジ補助金事業 <table border="1" data-bbox="347 851 1283 965"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報処理技能検定試験（表計算）</td><td>③</td><td>5 人</td><td>4 人</td></tr> <tr> <td>マーケティング検定</td><td>③</td><td>8 人</td><td>3 人</td></tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	情報処理技能検定試験（表計算）	③	5 人	4 人	マーケティング検定	③	8 人	3 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数												
情報処理技能検定試験（表計算）	③	5 人	4 人												
マーケティング検定	③	8 人	3 人												
※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）															
（備考）（任意記載事項）															

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	アニメイラスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	68 単位	17	36	0	0	15
			68 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		19 人	0 人	1 人	11 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 業界で実務を行う講師の意見を取り入れ、イラスト業界で仕事をするために必要な知識・技術を習得できることを目指したカリキュラムで授業科目を開設している。 ① 1 年次に基本的なソフトの操作を習得する。作品を制作しながら、制作物の受注から仕上げまでの過程、クライアントとのコミュニケーションやスケジュール管理を学ぶ。 ② イラストの理論、色彩などの知識を学び、作品制作に生かせるようにする。 ③ 現役クリエイターによる授業、業界の外部講師による特別授業により、実際の仕事をイメージさせる。 ④ 社会人としてのマナーやビジネスソフトスキルを身につける。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が 2 年間で 62 単位以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が 31 単位以上	
学修支援等	
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	コミックイラスト学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	(1,815) 単位時間	(150)	(840)	(0)	(0)	(825)	
			(1,815) 単位時間					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人		31 人	0 人	1 人	11 人	12 人		

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき
単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 業界で実務を行う講師の意見を取り入れ、イラスト業界で仕事をするために必要な知識・技術を習得できることを目指したカリキュラムで授業科目を開設している。 ① 1 年次に基本的なソフトの操作を習得する。作品を制作しながら、制作物の受注から仕上げまでの過程、クライアントとのコミュニケーションやスケジュール管理を学ぶ。 ② イラストの理論、色彩などの知識を学び、作品制作に生かせるようにする。 ③ 現役クリエイターによる授業、業界の外部講師による特別授業により、実際の仕事をイメージさせる。 ④ 社会人としてのマナーやビジネスソフトスキルを身につける。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の時間数合計が 2 年間で 1,700 時間以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の時間数合計が原則 800 時間以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																							
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																				
48 人 (100%)	0 人 (0%)	45 人 (93.8%)	3 人 (6.3%)																				
（主な就職、業界等） アニメ業界、映像制作業界、印刷業界、広告業界、小売業界 等																							
（就職指導内容） キャリアプログラム・学生面談・求人紹介・面接指導・個別就職活動支援など																							
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="1" data-bbox="339 763 1294 954"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Photoshop クリエイター能力認定試験</td><td>③</td><td>30 人</td><td>26 人</td></tr> <tr> <td>Illustrator クリエイター能力認定試験</td><td>③</td><td>25 人</td><td>14 人</td></tr> <tr> <td>Word 文書処理技能認定試験</td><td>③</td><td>25 人</td><td>21 人</td></tr> <tr> <td>Excel 表計算処理技能認定試験</td><td>③</td><td>20 人</td><td>16 人</td></tr> </tbody> </table> ※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Photoshop クリエイター能力認定試験	③	30 人	26 人	Illustrator クリエイター能力認定試験	③	25 人	14 人	Word 文書処理技能認定試験	③	25 人	21 人	Excel 表計算処理技能認定試験	③	20 人	16 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
Photoshop クリエイター能力認定試験	③	30 人	26 人																				
Illustrator クリエイター能力認定試験	③	25 人	14 人																				
Word 文書処理技能認定試験	③	25 人	21 人																				
Excel 表計算処理技能認定試験	③	20 人	16 人																				
（備考）（任意記載事項）																							

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81 人	2 人	2.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止セミナーの受講 ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	e スポーツビジネス 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	70 単位 (1, 830) 単位時間	24 (420)	46 (1, 380)	0 (30)	0 (0)	0 (0)
			70 単位 (1, 830) 単位時間				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		50 人	0 人	1 人	11 人	12 人	

※ () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条 (経過措置)」に基づき
単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 業界で実務を行う講師の意見を取り入れ、e スポーツ業界で仕事をするために必要な知識・技術を習得できることを目指したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①講義、演習をニーズに合わせて効果的に実施し、e スポーツ企業と連携したカリキュラムで現場に直結する実践型の授業を展開。 ②ビジネス PC 演習、Illustrator 基礎、Photoshop 基礎、動画編集基礎、IT 技術の基礎などの知識を学び、業界活動に活かせるようにする。習得の確認も兼ねて各種の検定合格を目指す。 ③実践力、現場力を身に付けるため、各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。 ④プレイヤーとしてのスポーツマンシップや社会人としてのマナーを身につける。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況 (小テスト・課題・レポートの成績も含む)・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定 (60 点) 以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 (1) 卒業認定 修得 (合格) 科目の単位数合計が 2 年間で 62 単位以上 (2) 進級認定 修得 (合格) 科目の単位数合計が 31 単位以上
学修支援等
(概要) ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																											
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																								
35 人 (100%)	0 人 (0%)	31 人 (88.6%)	4 人 (11.4%)																								
（主な就職、業界等） 総合職、エンジニア、販売職、イベント運営関連																											
（就職指導内容） キャリアプログラム・学生面談・求人紹介・面接指導・個別就職活動支援など																											
（（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Photoshop アドビ認定プロフェッショナル</td><td>③</td><td>23 人</td><td>21 人</td></tr> <tr> <td>Illustrator アドビ認定プロフェッショナル</td><td>③</td><td>24 人</td><td>16 人</td></tr> <tr> <td>Premia Pro アドビ認定プロフェッショナル</td><td>③</td><td>32 人</td><td>12 人</td></tr> <tr> <td>Mos 検定 Word</td><td>③</td><td>8 人</td><td>8 人</td></tr> <tr> <td>Mos 検定 Excel</td><td>③</td><td>7 人</td><td>7 人</td></tr> </tbody> </table> ※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Photoshop アドビ認定プロフェッショナル	③	23 人	21 人	Illustrator アドビ認定プロフェッショナル	③	24 人	16 人	Premia Pro アドビ認定プロフェッショナル	③	32 人	12 人	Mos 検定 Word	③	8 人	8 人	Mos 検定 Excel	③	7 人	7 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
Photoshop アドビ認定プロフェッショナル	③	23 人	21 人																								
Illustrator アドビ認定プロフェッショナル	③	24 人	16 人																								
Premia Pro アドビ認定プロフェッショナル	③	32 人	12 人																								
Mos 検定 Word	③	8 人	8 人																								
Mos 検定 Excel	③	7 人	7 人																								
（備考）（任意記載事項）																											

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・週報を活用し、事前にメンタル及び授業理解度の確認		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	メディカルトリマー学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	68 単位 (1, 770) 単位時間	16 (330)	8 (0)	11 (30)	0 (0)	33 (1, 410)
			68 単位 (1, 770) 単位時間				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		112 人	0 人	3 人	14 人	17 人	

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき
単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ペット業界の方との意見交換を行う教育課程編成委員会や、担当教員と講師によるミーティングを行い、ペット関連企業等と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①ペット関連企業と連携した実践型の授業科目を開設。専門分野の講義、演習、実習授業を通じて、現場に直結する実践カリキュラムで即戦力を育成する。 ②ペット関連企業での見学や実習、インターンシップなどで現場を経験し、実践力を養う。 ③ペット業界の各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が 2 年間で 62 単位以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が 31 単位以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																							
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																				
63 人 (100%)	0 人 (0%)	55 人 (87.3%)	8 人 (12.7%)																				
（主な就職、業界等） ペット業界（トリミングサロン、動物病院、ペットショップ）、一般企業など																							
（就職指導内容） キャリアプログラム・学生面談・企業紹介・面接指導・個別就職活動支援など																							
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="1" data-bbox="363 763 1182 972"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士1級</td><td>③</td><td>24 人</td><td>21 人</td></tr> <tr> <td>トリマーライセンスC級</td><td>③</td><td>28 人</td><td>27 人</td></tr> <tr> <td>トリマーライセンス1級</td><td>③</td><td>41 人</td><td>41 人</td></tr> <tr> <td>サロントリマー1級</td><td>③</td><td>22 人</td><td>21 人</td></tr> </tbody> </table> ※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	愛玩動物飼養管理士1級	③	24 人	21 人	トリマーライセンスC級	③	28 人	27 人	トリマーライセンス1級	③	41 人	41 人	サロントリマー1級	③	22 人	21 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
愛玩動物飼養管理士1級	③	24 人	21 人																				
トリマーライセンスC級	③	28 人	27 人																				
トリマーライセンス1級	③	41 人	41 人																				
サロントリマー1級	③	22 人	21 人																				
（備考）（任意記載事項）																							

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123 人	8 人	6.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更、出席率不足、成績不振等のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛 生 専門課程	パティシエ・ ブーランジェ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	69 単位 (1, 950) 単位時間	17 (450)	18 (240)	1 (30)	0 (0)	33 (1, 230)
			69 単位 (1, 950) 単位時間				
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		60 人	0 人	3 人	13 人	16 人	

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき
単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 担当教員と講師によるミーティングを行い、製菓業界と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①講義、実技、実習を効果的に実施し、製菓業界と連携したカリキュラムで現場に直結する実践型の授業を展開。新人に必要な基礎技術の習得を目指す。 ②校外実習やインターンシップなどで実際の現場を経験し、実践力を養う。 ③実践力、現場力を身に付けるため、各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （１）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が 2 年間で 62 単位以上 （２）進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が 31 単位以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																							
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																				
25 人 (100%)	0 人 (0%)	24 人 (96%)	1 人 (4%)																				
（主な就職、業界等） 菓子業界（洋菓子店、カフェ、パン屋、ホテル、工場）																							
（就職指導内容） 履歴書の書き方や面接指導、訪問・電話訓練を行い学生の志望する分野を把握し求人情報を提供すると同時に個別指導を行う。																							
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製菓衛生師</td><td>②</td><td>25 人</td><td>23 人</td></tr> <tr> <td>サービス接客技能検定 3 級</td><td>③</td><td>16 人</td><td>16 人</td></tr> <tr> <td>サービス接客技能検定 2 級</td><td>③</td><td>10 人</td><td>10 人</td></tr> <tr> <td>パティスリーラッピング 3 級</td><td>③</td><td>20 人</td><td>20 人</td></tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	製菓衛生師	②	25 人	23 人	サービス接客技能検定 3 級	③	16 人	16 人	サービス接客技能検定 2 級	③	10 人	10 人	パティスリーラッピング 3 級	③	20 人	20 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
製菓衛生師	②	25 人	23 人																				
サービス接客技能検定 3 級	③	16 人	16 人																				
サービス接客技能検定 2 級	③	10 人	10 人																				
パティスリーラッピング 3 級	③	20 人	20 人																				
※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）																							
（備考）（任意記載事項）																							

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	7 人	12.7%
（中途退学の主な理由） 病気による出席率不足、成績不振、進路変更等のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		衛 生 専門課程	調理師養成学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	64 単位 (1, 740) 単位時間	18	19	0	0	27	
			(600)	(330)	(0)	(0)	(810)	
			64 単位 (1, 740) 単位時間					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
60 人		43 人	0 人	3 人	19 人		22 人	

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 担当教員と講師によるミーティングを行い、飲食業界やそれに関わる企業と連携したカリキュラムで授業科目を開設している。 ①講義、実技、実習を効果的に実施し、飲食業界やそれに関わる業界と連携したカリキュラムで現場に直結する実践型の授業を展開。新人に必要な調理の基礎知識、基礎技術の習得を目指し、社会人としての人間力を身につける。 ②校外実習や現場体験などを通して、実際の現場での働き方を経験し、新人として現場で求められる実践力を養う。 ③実践力、現場力を身に付けるため、各分野のスペシャリストが講師として授業を担当している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、定期試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が 2 年間で 62 単位以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が 31 単位以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・放課後などを活用した各種検定に向けた補習授業 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）															
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他												
23 人 (100%)	0 人 (0%)	23 人 (100%)	0 人 (0%)												
（主な就職、業界等） ホテル、旅館、病院、飲食店など															
（就職指導内容） 必要に応じて随時面談などの指導を実施															
（主な学修成果（資格・検定等）） <table border="1" data-bbox="371 759 1267 878"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食育インストラクター</td><td>③</td><td>22 人</td><td>21 人</td></tr> <tr> <td>技術考査</td><td>③</td><td>23 人</td><td>21 人</td></tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	食育インストラクター	③	22 人	21 人	技術考査	③	23 人	21 人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数												
食育インストラクター	③	22 人	21 人												
技術考査	③	23 人	21 人												
※種別について ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定など）															
（備考）（任意記載事項）															

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	2 人	5.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更、成績不振、出席率不足、家庭内の経済的な事情等		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業後のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	65.5 単位 (2,060) 単位時間	35.5 (1,006)	20 (600)	10 (454)	0 (0)	0 (0)
			65.5 単位 (2,060) 単位時間				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		31 人	19 人	4 人	17 人	21 人	

※（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条（経過措置）」に基づき単位数の欄に、授業時数を記載している。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本学科は Semester 制となっており、カリキュラムは講義・演習・実習（校外実習）で構成されている。1 年間の授業計画として、介護福祉教育は実践学であるため、学内での講義・演習と夏季に行う介護実習Ⅰ（1 年）介護実習Ⅲ（2 年）と秋季から冬季にかけて介護実習Ⅱ（1 年）介護実習Ⅳ（2 年）を置くことで、学内での講義、演習と校外実習によって実践的学びを深める構成となっている。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価については、試験・平素の学習状況（小テスト・課題・レポートの成績も含む）・学習態度・出席状況等を総合的に評価し、C 評定（60 点）以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 下記の条件を満たす学生について卒業・進級を認定する。 （1）卒業認定 修得（合格）科目の単位数合計が2年間で62単位以上 （2）進級認定 修得（合格）科目の単位数合計が31単位以上
学修支援等
（概要） ・授業理解度不足の学生に対する授業のフォローアップ ・留学生に対して、専門日本語や JLPT 対策の日本語補習を実施 ・担任による個別面談および電話やメールなどによる連絡・相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム			
(就職指導内容) 本人の希望を聞きながら、情報の提供、情報収集の方法、書類の準備、施設との連絡・調整をしながら進めている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率：留学生 40% ※日本人学生 0 名のため受験者なし 初級パラスポーツ指導員資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	2 人	9.1%
(中途退学の主な理由) 1 名は入学時よりすでに国家試験受験資格を取得（特定技能による実務経験）しており、国家試験に合格したため。 1 名は、持病により登校が難しくなったため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・個別カウンセリングや学生面談、ご家族面談の強化 ・学生の授業理解度向上のための放課後などを活用した授業のフォローアップ ・退学者防止に関する委員会の設置		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
医療事務	150,000 円	480,000 円	290,000 円	実習費、教育充実費
ファッションクリエイター			470,000 円	
ブライダル・コンシェルジュ			290,000 円	
マーケティングビジネス				
アニメイラスト			430,000 円	
e スポーツビジネス			370,000 円	
メディカルトリマー			430,000 円	
パティシエ・ブーランジェ				
調理師養成				
介護福祉				
診療情報管理士		400,000 円	270,000 円	
高度ファッションクリエイター				
修学支援（任意記載事項）				
学力試験特待生制度	特待生 S:授業料全額免除・特待生 A:授業料半額免除・ 特待生 B:授業料 10 万円免除・特待生 C:授業料 5 万円免除			
検定・部活特待生制度	特待生:5 万円免除			
親族入学金免除制度	入学金半額免除			
学卒者入学金免除制度	入学金全額免除			
指定校推薦入試制度	入学金 5 万円免除			
特別技能指定校推薦入試制度	入学金全額免除			

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL : https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 年度ごとに行っている学内自己評価委員で作成している自己評価を基に、企業等の学校関係者委員と情報を共有し、点検・評価を行い、不備な事項についての改善、疑問点の解消を行うことで、自己評価の客観性・透明性を高めていく。 また、関連企業・病院、教育関係者や卒業生といった学校に関係する人たちに、学校を理解してもらう情報を発信し、学校だけでなく、互いに協力しながら学生のことを考え、それぞれの立場・視点に立って意見を出し合うことで、よりよい学校づくりを行っていく。 学校が設定する評価項目 教育理念・目的・育成人材等、学校運営、教育活動、教育成果、学生支援、教育環境、学生募集と受け入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献 学校と学校関係者間で情報を共有し、不備な点等の改善、疑問点の解消を行った結果を、情報公開することにより、関連企業・病院、教育関係者や卒業生といった学校に関係する人たちに学校を理解してもらい、学校と互いに協力しながら学生のことを考え、それぞれの立場・視点に立って意見を出し合うことで、よりよい学校づくりを行

っていく。 評価結果については、校長および各部長の責任のもと、現状の課題や問題点について、改善を行っていく。学生指導においては、指導記録をきちんと残し、担当教員だけでなく、全体での情報共有を行う。職業体験（インターンシップ）については、各コースで目的の再確認を行い、時期・日数等について検討を行う。ボランティア清掃活動等は、学校全体、各コースで今以上の参加を促す、また、参加機会を与えるなど後押しの出来る方法を検討していく。 評価の高い項目については、学校の強みとして把握し広報活動等で有効に利用していく。 評価委員会を構成する委員は、5名以上とし、各校の職員以外の者で次に掲げる者のうちから委嘱の複数名を含む。 (1) 保護者等 (2) 卒業生 (3) 地域住民 (4) 企業・病院関係者 (5) 教育関係者 (6) その他教育に関する有識者		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社アコービューティック 代表取締役社長	2026年6月1日から 2028年5月31日	企業等委員
株式会社ティアラ 代表取締役社長	2026年6月1日から 2028年5月31日	企業等委員
パティスリーピアジェ 代表	2026年6月1日から 2028年5月31日	企業等委員
河合内科西口クリニック 院長	2026年6月1日から 2028年5月31日	企業等委員
株式会社カイトックホールディングス 総務部ゼネラルマネージャー	2025年6月1日から 2027年5月31日	企業等委員
株式会社アミーゴ 中国リージョナルマネージャー	2025年6月1日から 2027年5月31日	企業等委員
山陽事務機株式会社 営業部次長	2026年6月1日から 2028年5月31日	卒業生
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL : https://www.obcnet.ac.jp/gakuen/about/index.html#p05		
(備考)		
第三者評価未実施		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL : https://www.obcnet.ac.jp
